

第8回

日本ヘルスサポート学会第8回学術集会・総会

メインテーマ

人を動かすコミュニケーション時代のヘルスサポート

— 職域・地域の人々がKnowing(知る)からdoing(行動する)へ進むために —

● **日程** 2013年10月30日(水)

午前10時～午後5時50分

● **会場** 慶應義塾大学三田キャンパス北館

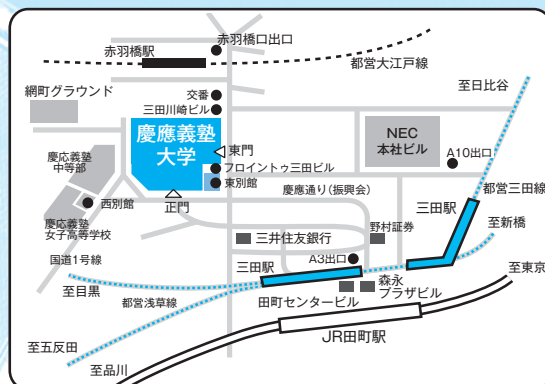
大会長 武林 亨

(慶應義塾大学医学部 衛生学公衆衛生学)

実行委員長 小林 篤(損保ジャパン総合研究所)

実行委員 秋山美紀(慶應義塾大学 環境情報学部)

田城孝雄(放送大学 大学院 生活健康科学プログラム)



JR山手線、京浜東北線田町駅より徒歩約8分、都営地下鉄浅草線・三田線三田駅より徒歩約7分、都営地下鉄大江戸線赤羽橋駅より徒歩約8分

● **申込方法**

日本ヘルスサポート学会のホームページからお申し込み下さい。(URL:<http://www.jshss.org/>)

● **プログラム**

10:00～

開会

10:05～10:30

大会長講演

「効果的なヘルスサポートを実現するコミュニケーション戦略」

慶應義塾大学医学部(衛生学公衆衛生学) 武林 亨氏

10:30～11:15

特別報告

「糖尿病エンパワーメント: 糖尿病劇場にみるコミュニケーションの実践」

名古屋大学大学院医学系研究科(地域総合ヘルスケアシステム開発寄附講座)

岡崎 研太郎氏

11:25～12:15

ポスター発表

12:20～13:10

ランチョンセミナー 共催:アッヴィ合同会社

「日本におけるFit For Work Serviceの必要性～生涯現役社会を目指して～」

産業医科大学(公衆衛生学) 松田 晋哉氏

13:15～13:30

総会

13:40～16:30

シンポジウム「人を動かすヘルスコミュニケーションの実践の現場から」

1 「ソーシャルマーケティング」手法に基づくがん検診受診率の改善事例

(株)キャンサーズキャン 福吉 潤氏

2 「鍛え育てる」職場のメンタルヘルスサポートの実践事例

慶應義塾大学医学部(ストレス研究センター) 加藤 元一郎氏

3 社員食堂を活用した食環境への「ポピュレーションアプローチ」の実践事例

コニカミノルタ(株)(人事部健康管理グループ) 三浦 淳子氏

4 「運動がつづく」プログラムによるメタボ対策の実践事例

熊本大学政策創造研究教育センター 都竹 茂樹氏

討議:松田晋哉氏(産業医科大学)、秋山美紀氏(慶應義塾大学環境情報学部)、演者

16:40～17:40

表彰式・受賞者発表

17:40～17:50

総括

18:00～

懇親会

● **参加費**

個人会員・法人会員 3,000円(法人会員は一人当たり)

会員以外 8,000円

学生会員 2,000円

会員以外(学生) 3,000円

● **懇親会費**

5,000円(学生3,000円)

● **事務局**

日本ヘルスサポート学会事務局

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋1-1-1 パレスサイドビル9F (株)毎日学術フォーラム内

tel:03-6267-4550 fax:03-6267-4555 e-mail:jshss@mynavi.jp